

漁場環境保全基礎調査

I 調査目的

ホタテ貝を中心に漁業開発に大きな役割を期待されている青森湾の汚染の現状を知り、今後の対策の基礎資料とする。

II 調査内容

- (1) 調査期間：昭和44年4月～翌3月
- (2) 調査担当者：課長 長峰良典
技師 青山禎夫
" 橋爪政男
- (3) 調査地域：青森湾(野内～油川)
- (4) 調査項目：
 - a 社会経済的調査
 - b 水域の理化学的環境調査
 - c 底質および底生動物

III 調査結果

a 社会経済的調査

青森市の漁業者は673名おり、ホタテ貝、サバ、イワシが主な漁業対象となっている。

漁業権は第1～3種共同および第1種区画漁業権が設定されておりホタテ養殖の伸長が著しい。

b 水域の理化学的環境調査

湾西部(沖館川川口付近)において汚染の危険性がみられるが、全体としてはあまり進行していない。

CODをみると沖合に高いところがある。流入河川の水質及び湾内表面水のCOD分布は夫々第1表 第1図に示した。

c 底質および底生動物

底質については著しい悪化はみられず汚濁の指標となるCapitaniaがわずかに見られる程度である。底質のCOD、硫化物、灼熱減量(I.L)についての分布は夫々第2～4図に示した。

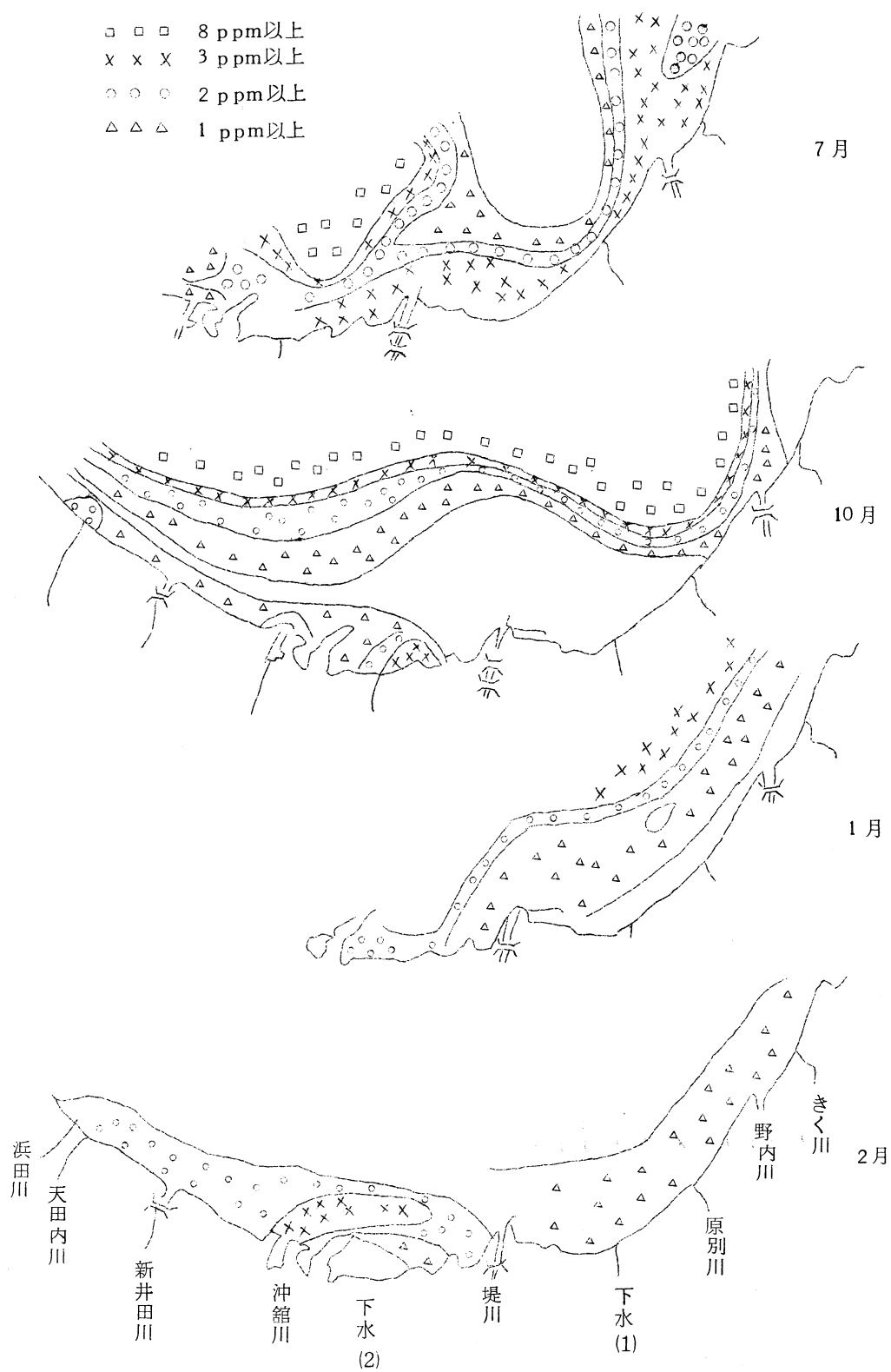
以上のことから、この海域の汚濁は沿岸部に限られており、その範囲は第5図に示すとおりである。

第1表 青森湾流入河川の水質

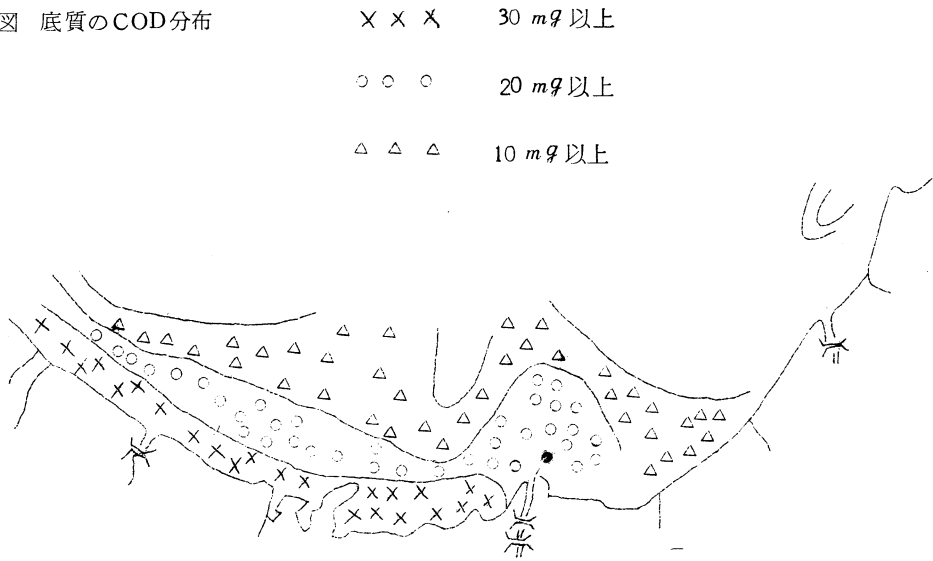
調査・年月日 昭・44・11・22
天 候 C

調査項目 河川名	水温 ℃	気温 ℃	透視度	溶存酸素量 PPm	酸素 飽和度%	COD PPm	P H	電導度 10 ² Ω	水量 t/s	時間 時 分
きく川	6.5	8.1	14cm	11.94	100.3	2.73	6.7	100	0.5	12:00
野内川	6.5		30cm以上	12.25	102.9	1.74	6.7	100	1.5	12:15
原別川	6.5		"	9.21	77.3	4.05	6.5	90	0.2	12:23
下水(1)	7.5		"	10.47	90.2	3.55	6.6	100	0.7	12:33
堤川	6.9	8.0	"	10.19	86.4	3.80	4.6	3.8	2.0	13:10
下水(2)	6.2		22cm	10.88	90.7	5.45	5.6	40	0.3	13:30
沖館川	8.4		23cm	7.41	82.8	8.26	6.8	55	2.5	13:45
新井田川	7.2		22cm	10.41	89.0	3.55	6.8	15	2	14:00
天田内川	7.4	7.5	19cm	9.42	80.9	6.78	6.8	80	0.8	14:30
浜田川	7.1		30cm以上	10.96	93.4	2.40	6.8	100	1.2	14:20

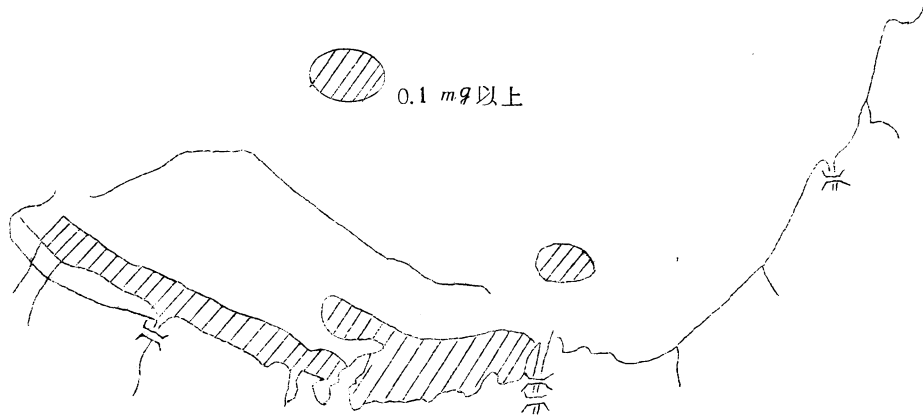
第1図 表面水のCOD分布



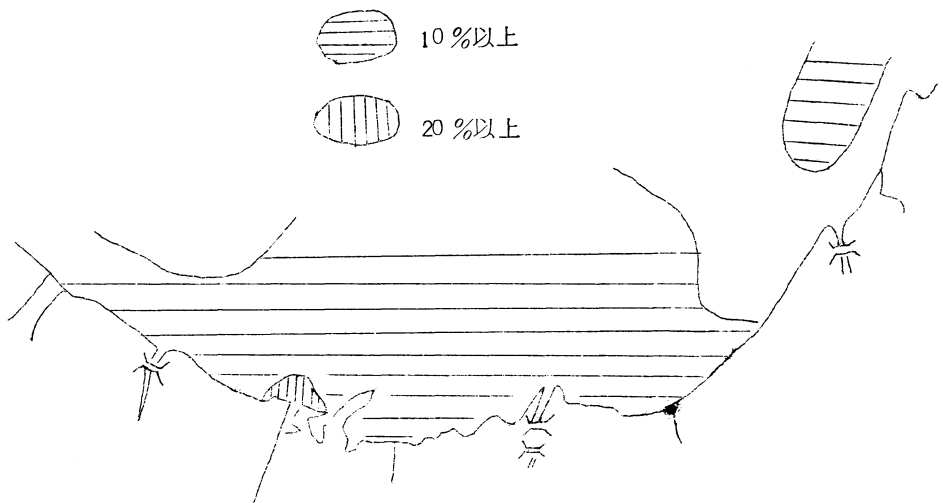
第 2 図 底質のCOD分布



第 3 図 底質の硫化物分布 (10 月)

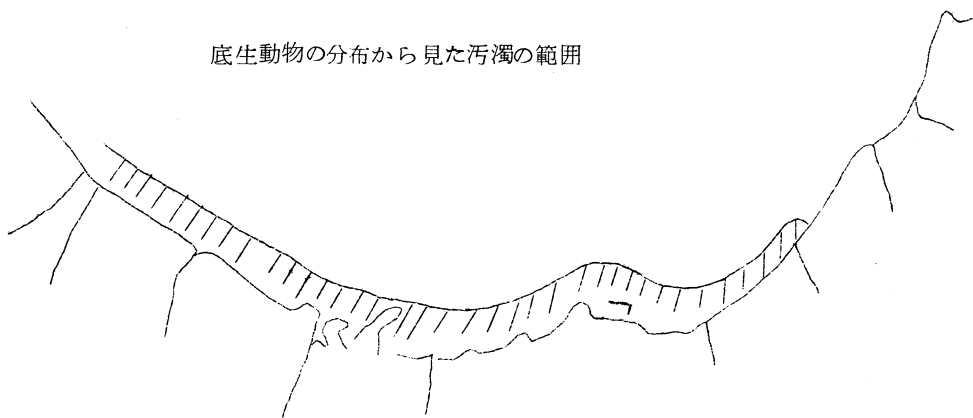


第 4 図 底質のI.L分布 (10 月)

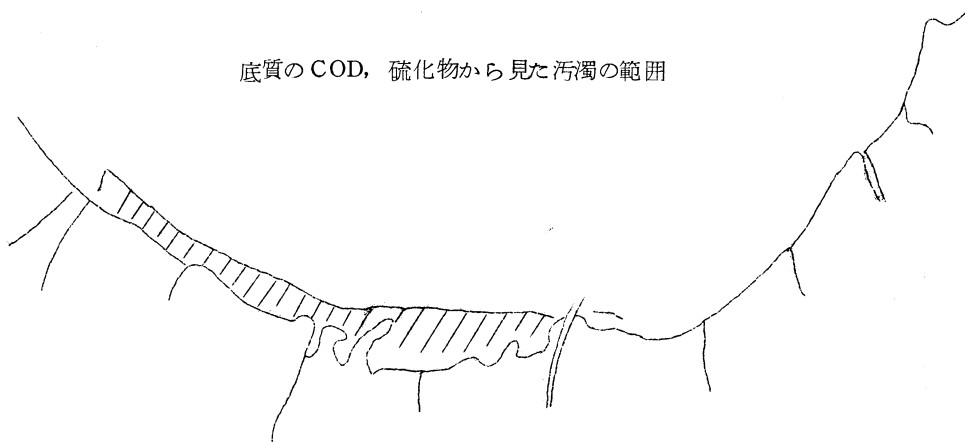


第5図 汚濁の範囲

底生動物の分布から見た汚濁の範囲



底質のCOD, 硫化物から見た汚濁の範囲



総合的に見た汚濁の範囲

